

<平成 28 年度 議会報告会記録>

[日 時]平成 28 年 10 月 12 日(水) 午後 6 時 30 分～

[会 場]末広コミセン

[参加者数] 4 名

[担 当 者] 2 班： 大栗、 渋谷、日里、今、関野、佐藤 (班長、 副班長)

意見・要望・質疑事項など要旨	対応・回答の要旨	備 考
(1)議案にある「ふるさと納税」について	(1)これまでは謝意を表すワインチーズを送っていた。12 月からはこれまでの税の基本は保ちつつ、地場産商品を拡充し、地域活性化を図りたい。ふるさと納税サイト(ふるさとチョイス)に参加、クレジット払いも可となった。	
(2)合併浄化槽と単独浄化槽について検査を拒否している人がいる。正しく指導しているのか。	(2)場所等、事実を把握して、後日ご報告します。 【報告内容】市では未受検者に対して個々に指導・通知している。	
(3)市役所庁舎は建築 50 年近く経過している。耐震に問題があるようだが、議会から何かアクションはしているのか。	(3) 5 年後を見据えて調査していると報告を受けているのが現状です。	
(4)ゴミステーションは順番に場所をずらして欲しい。ゴミの片付け、雪はねなど、高齢化で大変だ。	(4)まず町内の会合で調整して欲しい。町内会で解決できないことは、行政に相談してほしい。市の公園は雪捨て場としては良い。除雪は経費がかかることもあるが、相談してほしい。(ステーション事例紹介：1 年間の色付きカレンダーで掃除する人をわかるようにしている。又、施設管理しているところもある。)(雪捨て場事例紹介：数軒が集まって業者にお任せしている)	

意見・要望・質疑事項など要旨	対応・回答の要旨	備考
(5)町内会とマンションの関係について、対応に苦慮している。(議会回答後、町内会からゴミステーション、街灯設置するなど自主ルール制定により、回収に苦労していない実例報告があった)	(5)持ち主さんの課題でもあるが、悩ましい。町内会に入ってもらって話し合いの糸口を見つけて欲しい。	
(6)ゴミステーション、カラス対策は何か有効な手立てとして、二重の網をしてはどうかと思う。	(6)担当課に伝えます。	
(7)危険空き家について、全部で360戸というのは市全体を指しているのか	(7)市内に腐朽・破損有の空き家が360戸ある。相談窓口を設けて、アドバイスをして適切な管理を促す。建物があれば固定資産税が六分の一となるが、富良野の土地価格であればそう大きい金額にはならない。危険家屋の勧告、命令、代執行のことを定め、財産を、きちっと取り扱っていきましょうということルール化した。	